

新年の挨拶

岐阜県臨床検査技師会会長 棚村一彦



会員の皆様、明けましておめでとうございます。

元旦の夕刻、石川県で最大震度7を観測した能登半島地震が発生、岐阜県在住の会員の皆様も大きな揺れを感じられたかと思います。また翌日の1月2日には、羽田空港で海上保安庁と日航の航空機が衝突する事故が発生するなど、多難な1年のスタートとなりました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、被災されました多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

日臨技は対策本部を設置し石川県庁の対策本部に日臨技のリエゾンが出向しています。

中部圏支部であり、隣接する県の大きな被災のため当会も支援活動を行わねばなりません。会員の皆様方におかれましてはご協力をお願いすることがあると思いますのでよろしくお願いいたします。

また昨年チャットGPTが一般公開され、臨床検査でも今後爆発的に進化した生成AIやロボットなどで開発した検査機器が現場に導入されるものと考えられます。

臨床検査技師の仕事が失われないよう仕事を確保し職能を発揮するために学術の振興を図ることが必須です。会員の皆様方におかれましては臨床検査技師の未来のために一層の御支援・ご協力お願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も宜しくお願い致します。





令和5年度の検査と健康展を終えて

一般財団法人総合保健センター
澤野 晴夫

今年度の検査と健康展は、12月3日(日)に関市のマーゴで開催いたしました。

当日は、中部圏支部医学検査学会と日程が重なったことや、準備の過程で会場変更もあり全部門のイベントを実施することができませんでした。参加いただいた部門からはエコーを使用した中身当てクイズや、顕微鏡をのぞき血液細胞を確認したり、模擬検体での血糖測定など検査の内容や仕組みを体験したりする企画が集まりました。普段は目にすることのない臨床検査機器に接することができ、どのように自分たちの検体が検査されるのかということの理解につながったと思います。また、高校生の方が熱心に顕微鏡をのぞき技師から血液細胞の説明を聞く姿もみられました。

臨床検査専門医会からは先生がお越しになり、来場者の健康相談をしていただきました。病院ではなく楽な気持ちで先生にお話ができる場であるので、時間をかけて質問される姿が見られました。

検査と健康展をショッピングセンター等の人が集まる場で行うことで、活動自体が来客された方の目に留まり、臨床検査や検査技師の仕事を理解できる一つの手段になっていると思います。その方が医療機関に行った際に臨床検査を思い返していただけたら良いと思います。



来年度は、岐阜県が中央会場となりますので、規模が大きくなります。多くの方に来場していただき、より身近に臨床検査を感じていただくことや、学生の方が臨床検査技師に興味を持っていただける場としたいです。各部門やメーカーの皆様、お休みの中ご協力いただきありがとうございました。



『令和5年度 拡大研修会を終えて』

会場: 可見市文化創造センターala
レセプションホール
担当地区: 中濃地区

一般財団法人 総合保健センター
白田 裕樹



令和5年12月10日(日)に可見市文化創造センターala レセプションホールにおいて、令和5年度 拡大研修会を開催しました。今まで春季、秋季の年2回開催していた拡大研修会が今年度より年1回になり、初めての開催となりました。またコロナ禍が明けて久しぶりの完全現地開催ということで人数が集まるか心配しておりましたが、当日研修会の参加者は岐臨技会員59名、賛助会員8名、市民7名(市民公開講座)で多くの方に参加していただけたと感じております。

また今回は研修テーマ『炎症性腸疾患を学ぶ』のもと、病理細胞部門から『炎症性腸疾患の病理』中部国際医療センター 病理診断センター長 山田 鉄也先生、臨床一般部門から『炎症性腸疾患の臨床』日本赤十字社 岐阜赤十字病院 消化器内科 松下 知路先生にご講演いただきました。大変ご高名な両先生の講演が聞けて参加者の皆様はとても勉強になったのではないかと思います。

特別講演・市民公開講座では『ドッグセラピーの取り組み～小児がんからの夢～』と題して、Animal-funfairわんとほーむ代表 向 宇希先生に講演していただきました。新聞の連載やメディアの方にもご出演されご活躍されている先生になり、ドッグセラピーの取り組みを知る良い機会になったと思います。

またランチョンセミナーも『大腸癌病理診断に有用なバイオマーカー』ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 筒井 康博様、『潰瘍性大腸炎における便中カルプロテクチン検査の意義』アルフレックスファーマ株式会社 大村 稔様の2講演行いました。全ての講演において参加者の皆様が真剣な眼差しで聞いていたのが印象的でした。やはり現地開催にて生で先生の講演を聞いたり、他の技師会員と話して交流を深めるのは素晴らしいことだと改めて感じました。とても有意義な研修会になったと感じております。

今回の開催に当たりまして、ご講演を快諾いただきました講師の皆様、準備から当日運営、後片付けまでご協力いただきました会長や病理細胞、臨床一般の両部門長をはじめ、中濃地区の実行委員の皆様、並びにご協賛いただきました賛助会員の皆様に厚く御礼申し上げます。



令和5年度 第61回岐阜県医学検査学会

開催日:令和6年3月10日(日)

開催方式:現地開催(岐阜医療科学大学 早緑ホール)

岐阜県関市市平賀字長峰795-1 TEL 0575-22-9401

参加費:1,000円

申込期限:1月31日(水)

教育講演 『臨床検査技師が担うタスクシフト/シェアとは(仮)』

(一社)日本臨床衛生検査技師会 代表理事会長 宮島 喜文 先生

ランチョンセミナー 『未定』日本光電工業(株)

『未定』ロシュ・ダイアグノスティックス(株)

市民公開講座 『がんゲノム医療ができること』

中部国際医療センター がんゲノム診断・診療センター

副センター長/泌尿器科部長 水谷 晃輔 先生



● 日臨技中部圏支部研修会「輸血部門研修会」
開催日時:2024年1月28日 13:00~17:00
開催方式:WEB開催

● 日臨技中部圏支部臨床検査総合部門研修会
開催日時:2024年2月12日 10:00~15:00
開催方式:WEB開催
申込期限:1月21日

● 日臨技中部圏支部研修会 臨床生理部門研修会
開催日時:2024年2月5日~2月19日
開催方式:WEB開催
申込期限:1月29日

● 生物化学分析部門研修会
開催日時:2024年2月4日 10:00~12:00
開催方式:WEB開催
申込期限:1月26日

● 輸血細胞治療部門研修会
開催日時:2024年2月24日 13:45~16:30
開催方式:現地開催(東海学院大学)
申込期限:2月9日

● 日臨技中部圏支部研修会 病理細胞部門研修会
開催日時:2024年2月24日~2月25日
開催方式:現地開催(三重県医師会館)
申込期限:1月15日

● 第7回タスクシフト実技講習会
開催日時:2024年5月19日(日)
開催地:岐阜医療科学大学

発行所 (一社)岐阜県臨床検査技師会

〒500-8383 岐阜市江添2丁目5-15 ソシエ2001-305号室

発行責任者 棚村 一彦

編集者 市川 浩良 種村 久子

TEL 058-275-5596 FAX 058-213-0220

E-mail giringi-office@giringi.jp